

<¥!DOCTYPE html>

技術提案書作成テンプレート

総合評価落札方式対応版

はじめに

このテンプレートは、総合評価落札方式における技術提案書の作成を支援するためのものです。国土交通省をはじめとする発注機関の評価基準に基づき、高得点を獲得するためのポイントを盛り込んでいます。

2025年度からの重要な変更点

- 技術提案の加算点が拡大される見込み
- 生産性向上のための仕様変更提案が可能な新評価タイプの導入予定

1. 技術提案書の基本構成

表紙

`` `[工事・業務名称]に係る技術提案書

令和〇年〇月〇日

発注者名 御中

会社名： 代表者名： 所在地： 電話番号： ``

目次

1. 会社概要 2. 施工実績 3. 配置技術者 4. 技術提案 5. 品質管理計画 6. 安全管理計画 7. 環境配慮計画 8. 地域貢献 9. その他特記事項

2. 会社概要

2.1 基本情報

| | | | | | | | | | | | |
|------|----|---------|-------|----------|--|-----|--|-------|--|-----|--|
| 項目 | 内容 | ----- | ----- | 商号 | | 代表者 | | 設立年月日 | | 資本金 | |
| 従業員数 | | 建設業許可番号 | | 経営事項審査結果 | | | | | | | |

2.2 技術力・信頼性

- ISO認証取得状況（9001、14001等）
- 表彰実績
- 技術開発実績
- 安全成績

3. 施工実績

3.1 同種・類似工事の実績

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|----|------|------|-------|-------|-------|-------|
| No. | 工事名 | 発注者 | 工期 | 請負金額 | 工事概要 | ----- | ----- | ----- | ----- |
| ----- | ----- | ----- | 1 | | | | 2 | | |
| | | | | | | | 3 | | |

3.2 実績の評価ポイント

- 規模の類似性

- 工法の類似性
- 施工条件の類似性
- 成績評定点

4. 配置技術者

4.1 主任技術者/監理技術者

| | |
|------------------------|-------------------------------|
| 項目 内容 ----- ----- | 氏名 生年月日 保有資格 実務経験 |
| 年数 専任/非専任 | |

4.2 技術者の施工実績

| |
|---|
| 工事名 発注者 役職 工期 工事概要 ----- ----- ----- ----- ----- |
| ----- |

5. 技術提案

5.1 工程短縮に関する提案

提案内容 ```` 【具体的な提案を記載】 例：プレキャスト製品の活用により、現場作業日数を○日短縮 ````

効果

- 工期短縮日数：○日
- コスト削減額：○円
- その他の効果：

実施方法 1. 2. 3.

5.2 品質向上に関する提案

提案内容 `` ` 【品質向上の具体策を記載】 例：コンクリートのひび割れ抑制のため、〇〇工法を採用 `` `

期待される効果

- 耐久性の向上
- 維持管理費の削減
- ライフサイクルコストの低減

5.3 新技術の活用（NETIS登録技術）

| ##### 活用技術 | NETIS番号 | 技術名称 | 概要 | 期待効果 | ----- ----- |
|----------------|---------|------|----|------|-------------|
| -- ----- ----- | | | | | |
| --- | | | | | |

6. 品質管理計画

6.1 品質管理体制

`` `[品質管理体制図]

品質管理責任者 |— 品質管理担当者 |— 検査担当者 |— 記録管理担当者 `` `

6.2 品質管理基準

| 管理項目 | 管理基準 | 測定頻度 | 管理方法 | ----- ----- ----- ----- |
|-------|------|------|------|-------------------------|
| ----- | | | | |

6.3 不適合発生時の対応

1. 不適合の発見・報告 2. 原因調査 3. 是正措置 4. 効果確認 5. 再発防止

7. 安全管理計画

7.1 安全管理体制

- 統括安全衛生責任者の配置
- 安全衛生推進者の選任
- 協力会社を含めた安全協議会の設置

7.2 リスクアセスメント

| 作業内容 | 想定リスク | リスクレベル | 対策 |
|-----------|-------|--------|-------|
| ----- | ----- | ----- | ----- |
| --- ----- | | | |

7.3 安全教育計画

- 新規入場者教育
- KY活動
- 安全大会の実施

8. 環境配慮計画

8.1 環境負荷低減策

騒音・振動対策

- 低騒音型建設機械の使用
- 作業時間の配慮
- 防音シートの設置

大気汚染対策

- 排ガス対策型建設機械の使用

- 散水による粉じん対策
- アイドリングストップの徹底

8.2 廃棄物削減・リサイクル

| 廃棄物種類 | 削減方法 | リサイクル率目標 | | | |
|-------|-------|----------|--|--|--|
| ----- | ----- | ----- | | | |
| ----- | | | | | |

8.3 CO2削減対策

- 省エネ型機械の使用
- 効率的な運搬計画
- 削減目標：〇%

9. 地域貢献

9.1 地元企業の活用

- 下請企業の地元採用率：〇%以上
- 資材の地元調達率：〇%以上

9.2 地域雇用

- 地元作業員の雇用：〇名以上
- 新規雇用の創出

9.3 地域活動への参加

- 清掃活動への参加
- 地域イベントへの協力
- 現場見学会の開催

10. 作成時の重要ポイント

10.1 高評価を得るための留意点

1. わかりやすい日本語で記載

- 専門用語を使う場合は説明を加える
- 箇条書きや図表を効果的に使用
- 1文は短く、明確に

2. 具体的な数値・根拠を示す

- 「○日短縮」「○%削減」など定量的に表現
- 実績に基づくデータを提示
- 第三者機関の評価があれば記載

3. 実現可能性を明確に

- 過去の実績を示す
- 実施手順を具体的に記載
- リスクと対策も記載

4. 視覚的にわかりやすく

- 図表・グラフの活用
- 写真による説明
- フローチャートでプロセスを明示

10.2 評価の重点項目（2025年度）

1. 総合的なコスト削減 - ライフサイクルコストの削減 - 維持管理費用の低減

- 2. **施設の性能・機能向上** - 耐久性の向上 - 利便性の改善
- 3. **社会的要請への対応** - 環境負荷の低減 - 働き方改革への対応 - 週休2日制の実現
- 4. **技術力の活用** - ICT技術の活用 - NETIS登録技術の採用 - 生産性向上への取り組み

11. チェックリスト

提出前に以下の項目を確認してください：

- ☐ 発注者の要求事項をすべて満たしている
- ☐ ページ数制限を守っている
- ☐ 提案内容に矛盾がない
- ☐ 誤字脱字がない
- ☐ 図表に通し番号とタイトルがある
- ☐ 提案の効果が定量的に示されている
- ☐ 実現可能性が明確である
- ☐ 過去の実績が適切に示されている

お問い合わせ

技術提案書の作成に関するご相談は、専門家にお任せください。

行政書士法人ふらっと法務事務所 ☎ 046-272-3357 ✉ mail@flat-legal.com

このテンプレートは2025年1月現在の情報に基づいています。発注機関により評価基準が異なる場合があります。

行政書士法人ふらっと法務事務所

TEL: 046-272-3357 < /dev/null | Email: mail@flat-legal.com